



2025.10.26 Sun

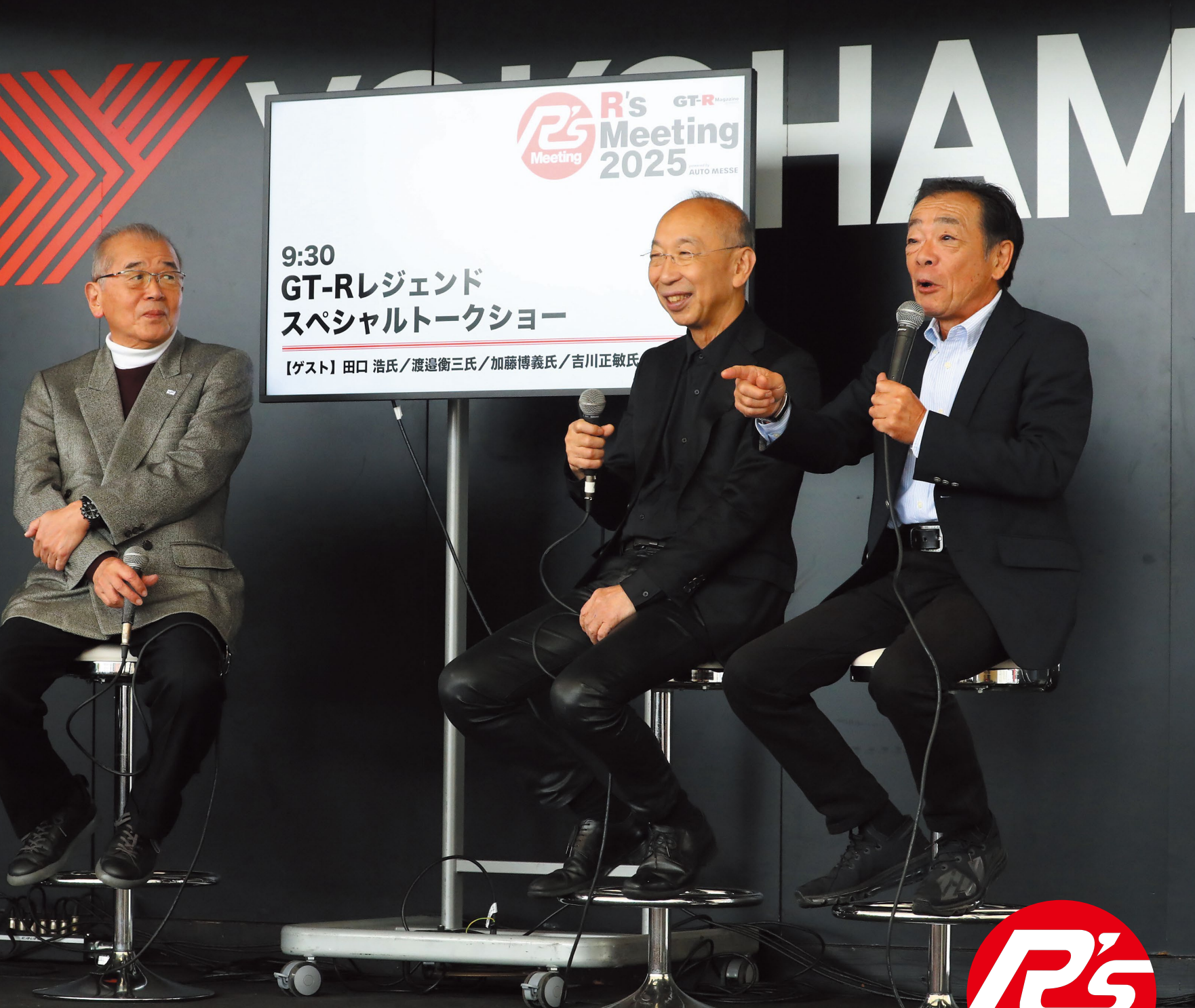
FUJI SPEEDWAY

イベント前日が雨だったこともあり、参加を断念した方もいらっしゃるだろう。せめてイベントの雰囲気だけでもこの特集を見て感じていただければと思う。GT-R熱は2026年になってもまだ冷めそうもない

文：編集部 写真：小林俊樹/木村博道/和田清志/増田貴広







9:30
GT-Rレジェンド
スペシャルトークショー

【ゲスト】 田口 浩氏 / 渡邊衛三氏 / 加藤博義氏 / 吉川正敏氏



2025.10.26 Sun
FUJI SPEEDWAY

GT-R Magazine
presents

R's Meeting 2025 開幕

Rへの情熱が冷めないよう
このイベントを守り続ける

皆さんのご協力のおかげで、17回
目のR'sミーティングを無事開催で
きたこと、感謝の念に堪えません。

バックナンバーを読みかえすと、
2024年も天候が少々心配だった
との記述があった。だが、今回は心
配どころか、前日の会場設営日は雨
+濃霧という最悪のコンディション
だった。しかも、当初予定していた
展示車両がトラブルで来られない、
登壇予定者が体調不良により欠席と
いう事態も発生。これには参った。
R35 GT-Rの生産が終了したこと
もあり、このイベントはなんとか盛
り上げたかった。悪天候で欠席する
オーナーやショップも多数出てくる
かもしれない。そんな沈んだ気分の
まま翌朝を迎えた。

早朝、まだ暗い富士スピードウェ
イのゲート前に並ぶ4つの丸テール
が見えてきた。ありがとうみんな、
来てくれたんだと思わず涙腺が緩み
そうになる。そして朝からブース設
営をする出展者の方々も、『誰だ、
両男は』と笑顔で挨拶してくれた。

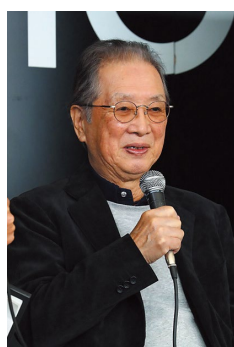
朝には雨も上がり、周囲の山々の
景色が見えるようになってきた。こ
れなら傘も必要なくイベント広場を
周遊できる。愛車撮影会に参加の方
には現地での洗車で苦勞をかけてし
まったが、いい写真が撮れそうだ。

9時のオープニングには大勢の方
が集まってくれた。この光景を目に
したとき、「次こそ晴天の下、もっ
と多くのRオーナーに出会いたい」
と感じた。12月20日(土)、岡山国際
サーキットで開催されるR'sミート
イングWEST、晴れの暖かい一日
になりますように。



GT-Rレジェンドスペシャルトークショーからスタート

R32の商品主管を経て、R33の“初代”商品主管を務めた田口 浩氏、R32では実験主管／実験主管を担当、R33／R34の商品主管を歴任した渡邊衡三氏、車両設計部、シャシー設計部、技術開発企画室、商品企画、車両実験部でスカイラインなどの車両開発を長年担当した吉川正敏氏、神の声を待つ開発ドライバー加藤博義氏に登壇いただいた。



R32商品主管／R33商品主管
田口 浩氏



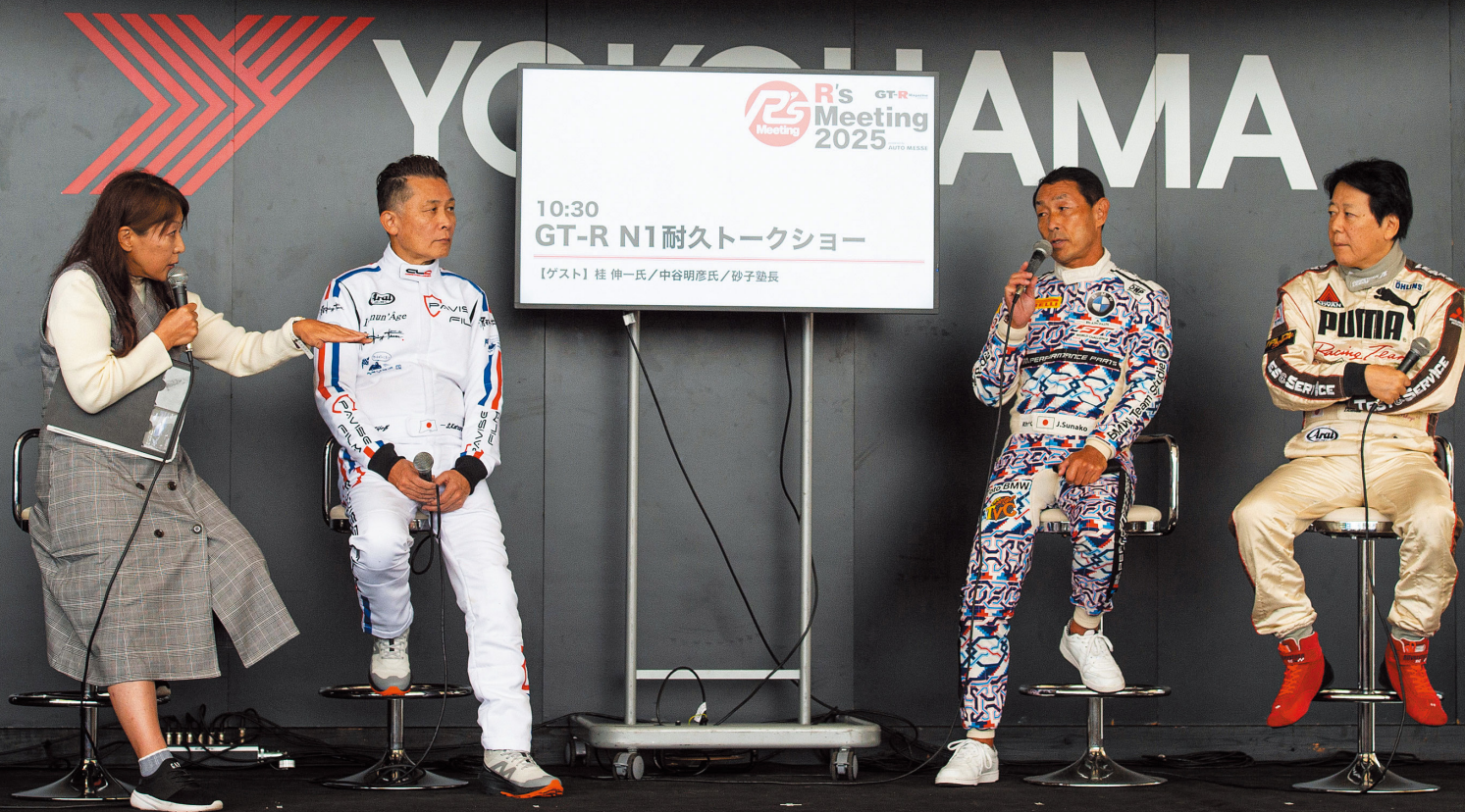
R32実験主管／R33・R34商品主管
渡邊衡三氏



R33～R34車両実験部主管
吉川正敏氏



R32～R34開発ドライバー、現NISMO
加藤博義氏



GT-R N1耐久トークショー

N1耐久レースで鎬を削った3人が登壇。当初、桂 伸一/木下隆之、砂子塾長/山田英二ペアと、GT-Rの刺客中谷明彦氏でのトークショーを予定していたが、木下氏が体調不良、山田氏はスーパー耐久参戦のため欠席となった。それでもあの頃の話は表も裏も面白い。限りなく市販車に近いレギュレーションで争っていたから、見ているほうも思わず感情移入したものだ。まだ現役でサーキットを走る面々には感服する。

GT-Rチューナーとして知られるマインズ新倉代表と。日産自動車との距離が近いチューナーが多くいると耳にするが……



桂 伸一氏



中谷明彦氏



砂子塾長



2025.10.26 Sun
FUJI SPEEDWAY

約120台のRが FSWを駆け抜けた

パレードランには約120台が参加した、前日までの雨と当日の霧が心配されたが、なんとかドライコンディションでの走行が実現した。先導車として富士スピードウェイのセーフティカーR35も合流。BNR32グループを先頭に、BCNR33、BNR34、R35の順でコースインしていく。パレードラン中には撮影チームが全車の走りをバッチリ。グリッド上に整列すると思ひ思いに記念撮影。この日が皆さんのいい思い出として刻まれることを祈って。



magazine presents powered by **AUTO ME**

R's Meetin



日産展示車両PRタイム

このコーナーにはふたつのサプライズを用意した。最初はイベント翌日の27日に発表予定だった新型「スカイライン400R」が展示されたこと。もうひとつは現地に遊びにきていた西川直志氏（元日産フォーミュラEチーフパワートレインエンジニア）を捕まえ、急遽、無理やりご登壇いただいた。

10月27日に発表されたNEWスカイラインが展示された。特別限定車「400R Limited」は限定400台



日産自動車・元フォーミュラEチーフパワートレインエンジニア
西川直志氏



日産自動車商品企画本部チーフプロダクトスペシャリスト
伊藤 潔氏



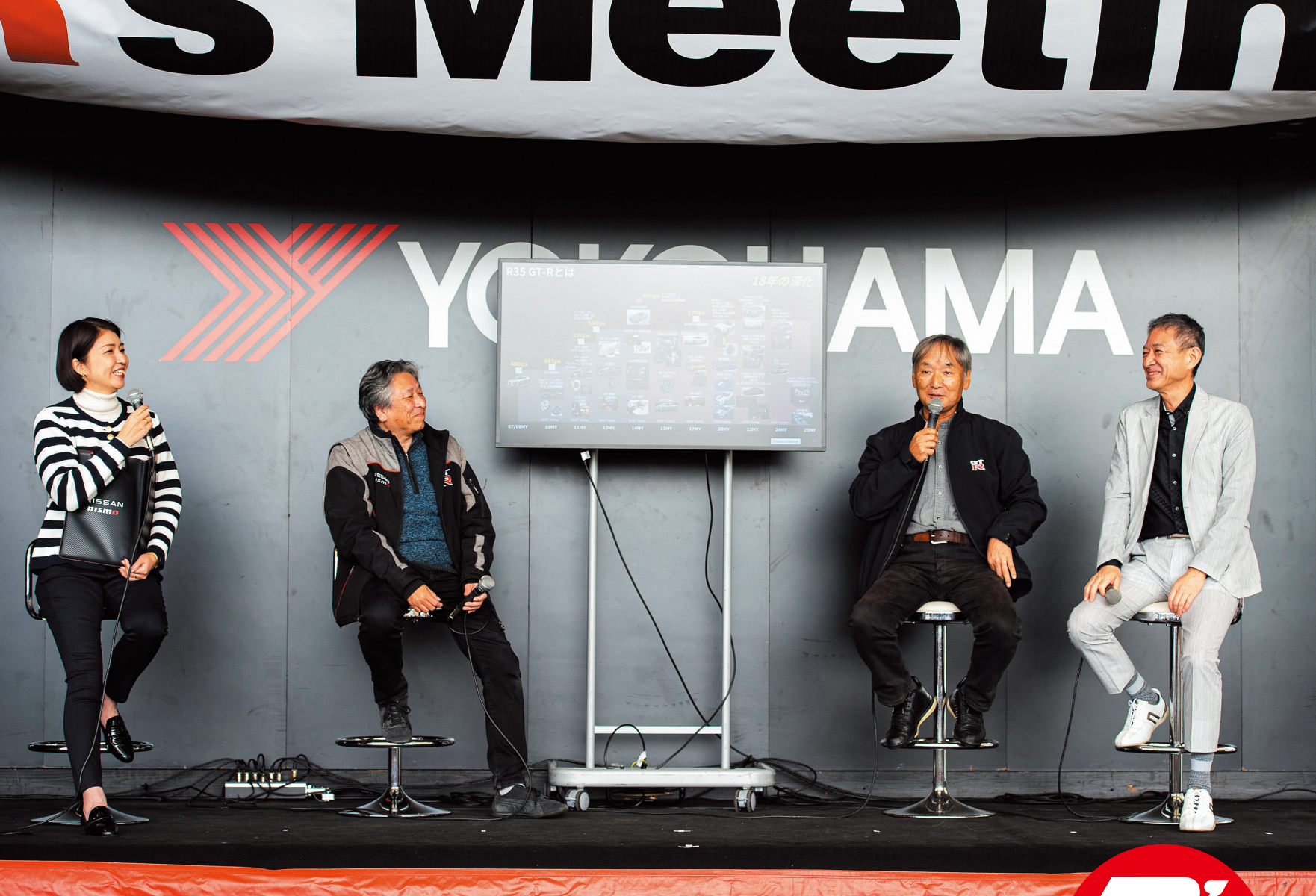


2025.10.26 Sun
FUJI SPEEDWAY

出展ブース巡りも 楽しみのひとつ

愛車撮影会やパレードラン、トークショーのほか、愛車のパーツを発掘するのが来場の主な目的だったりする。それゆえ朝一番でお目当てのブースへ向かう人も少なくない。トークショー終わりの登壇者を見つけてはサインを求める光景も目にする(開発者はもちろん、ベストモータリング世代は桂、中谷、砂子のドライバーたちにサインや記念撮影をねだっていた)。これがR's Meetingらしい楽しみ方とも言えるだろう。2026年はどんなメンバーでのトークショーになるか楽しみだ。





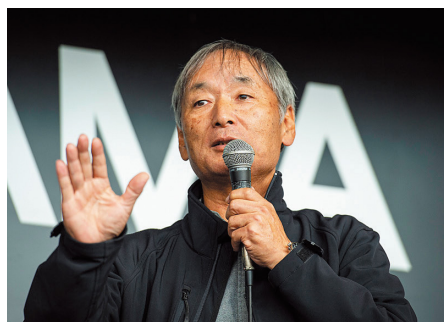
R35GT-R スペシャルトークショー

ここにもサプライズが隠されていた。Gマガ号と開発陣の愛車をステージ脇に並べたが、さりげなく置かれたミレニアムジェイドのR35 T-spec、じつは田村宏志氏の所有車だった。細部まで見るとところどころにこだわりが隠されていて、それは改めて紹介したい。R35GT-R最後のラインオフを見届けた松本光貴氏、先日定年退職されたトップガンのひとり、松本孝夫氏にも登壇してもらった。

田村氏がR32GT-Rのチューンドモデルを所有しているのは周知の事実だが、このR35GT-Rを購入していたのは初耳かもしれない



2025.10.26 Sun
FUJI SPEEDWAY



R34・35開発ドライバー
松本孝夫氏



R35開発主担
松本光貴氏



日産スポーツカー ブランドアンバサダー
田村宏志氏



オーナーズミーティング 仲間と集う場でもある

TEAM GT-R BY KUHLオーナーズミーティングがP13の専用エリアで催されたり、久しぶりにレプリカ軍団も駆けつけてくれ、来場者を楽しませてくれた。レプリカは'91カルソニック、'93カルソニック、'93日鉱共石、ユニシアジェックス、タイサン、リーボック、ユニシアマカオ仕様が揃った。こうした場でGT-Rオーナーたちが集まり交流を深めている様子に元気づけられる。愛車と共に写真を撮る、撮りたくなる……GT-Rの魅力はやはり計り知れない。





集合写真& じゃんけんタイム

復活したじゃんけんタイム。やっぱり盛り上がりますね。MCのおねえ、佐藤恵さん、そしてお祭り男、砂子塾長の力を借りてスタート。商品提供いただいた方自ら登壇いただいたり、商品を手にした写真を撮らせていただいたり、皆さんの協力で盛況に終わることができました。また、急遽じゃんけんタイム用に商品を提供いただいた企業、ショップの皆さま、この場をお借りして御礼申し上げます。



2026年もまた、お会いしましょう！



2025.10.26 Sun
FUJI SPEEDWAY

